

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Yくまーず未来春日井next 第1単位		
○保護者評価実施期間	R7年 10月 1日 ~ R7年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	R7年 10月 1日 ~ R7年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 11月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢と発達段階に合わせた支援	小学生から高校生まで、幅広い年齢のお子さまが利用しています。 同じ事業所内に年上の児童がいることで、小学生になったらどのように過ごすのかなど見通しがたつ また、交流もすることで就学後も環境の変化が少なく過ごすことができる。	異年齢での交流を増やしていく
2	外出や季節行事を取り入れた多様な活動	休日には外出活動を多く取り入れ、公園・施設見学・地域イベントなどで社会経験を上げています。 また、四季を感じられる活動（お花見・水遊び・収穫・冬の制作など）を通して、自然や生活の変化を楽しみながら豊かな感性を育てます。	今後も季節や近隣との関わりを定期的に取り入れていく
3	地域・家族・法人とのつながりを大切に	地域との交流や、近隣の就労支援事業所との連携を通して、将来を見据えた支援を行っています。 親子遠足や企業との合同イベント、法人内事業所との交流なども実施し、子どもたち・保護者・地域が一体となって成長を支えています。	今後も季節や近隣との関わりを定期的に取り入れていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援だけでは年齢の幅が狭く、また人数が少ない。	人数が少ないこともあり、集団活動になるとできることが限られてしまうこともある。	年上の児童との異年齢での関わりを通して集団を経験してもらっている。
2	外出・イベント時の調整	年齢や特性に応じた安全管理や対応を行う必要があり外出やイベントでは調整が難しくなることがあります	固定利用日の方が多いため、同じ曜日でも日程を分けるなどして安全確保を心がけている。
3			